

iLO 搭載サーバーにて Windows Server®を使用する場合の注意点に関して

iLO 搭載サーバーでは、既存機種と異なる箇所があり、既存機種から引き続き使用する場合は注意が必要です。下記に Windows Server®を使用する場合の注意点をまとめましたので参考にしてください。

① Windows Server® 2016 インストール

Windows Server® 2016 を EXPRESSBUILDER の Assisted Install オプションにてインストールすると、システム起動時に「Windows Server 2016 (C:¥Windows)」と「Windows PE (¥windows)」の起動を選択する Windows ブートマネージャが表示されるようになります。システム起動時に Windows ブートマネージャが表示されても、時間が経過すれば、自動的に Windows Server® 2016 が起動されますので問題はありませんが、ブートを選択するための待ち時間が発生して、起動に余計な時間がかかります。

Windows ブートマネージャを表示しないようにするためには、msconfig.exe プログラムを起動し、[ブート]ウィンドウから、[Windows PE (¥windows)] エントリを削除してください。

② Windows Scalable Network Package (SNP) 機能

既存の MAGNIA の Windows プレインストールモデル、または EXPRESSBUILDER から Windows Server®をインストールした場合、Scalable Network Pack (以降、SNP と略す) を無効に設定していましたが、iLO 搭載サーバーでは SNP の設定が有効になっています (Windows のデフォルト設定になっています)。

過去の事例では、SNP が有効になっている場合、ネットワークの動作が不安定になることが報告されていますので注意してください。本サーバー導入後、ネットワークの動作が不安定になった場合は、SNP 機能を無効にして、問題が解消されるか確認してください。

③ 自動復旧機能 (ASR)

最新の Starter Pack の適用を実施すると、システムの自動復旧機能(ASR)が自動的に有効に設定されますので注意してください。システムの自動復旧機能は、システムがハングアップした状態となり、一定期間、システムから応答がない場合に、システムを自動的に再起動する機能になります。

デフォルトの設定では、10 分間、システムから応答がないと再起動するよう設定されています。

④ NMI スイッチ

iLO 搭載サーバーでは、システムがハングアップした際に強制的にメモリダンプの採取を実施するために使用される NMI スイッチがありません。

ただし、システム管理を実施している iLO(Integrated Light-Out)にて NMI スイッチをエミュレーションしていますので、iLO 経由にて NMI を発行することができます(iLO Virtual feature 機能)。

なお、iLO への接続は管理用 LAN 経由となりますので、事前に、管理用 LAN のネットワークの設定を実施しておく必要があります。システムハング時に、急遽、管理用 LAN にケーブルを接続して iLO に接続しようとしても IP アドレスが分からず、iLO に接続できない可能性がありますので注意してください。事前に、iLO のネットワーク設定を実施しておくことをお勧めします。

⑤ iLO(Integrated Light-Out)からの SNMP Trap に関して

iLO には、発行される SNMP Trap をフィルタリングする機能がありません。全てのイベントが発行されますので、SNMP Trap を受け取る側でイベントをフィルタリングしてください。

なお、ESMPRO/ServerManager Ver.6.23/6.25 には、受け取った SNMP Trap をフィルタリングする機能がありませんので、全てのイベントが表示されます。

⑥ 既存機種とのバンドルソフトの違い

iLO 搭載サーバーでは、バンドルされているソフトウェアが既存機種と比べ、大幅に変更されています。既存機種とのバンドルソフトウェアの違いに関しては下記の資料を参照してください。

「ESMPRO 構成ガイド 運用管理編」

↳ 「4. 付録 4.3.BMC 搭載サーバーと iLO 搭載サーバーの主な違い」

ESMPRO 構成ガイド 運用管理編は下記の URL から参照可能です。

<http://www.toshiba-sol.co.jp/pro/magnia/pdf/guide/esmguide-ope.pdf>

⑦ 最新修正モジュールの適用

iLO 搭載サーバーでは、インストールされているドライバ、及び、関連する Firmware のバージョンを最新にするようにお願いします。バージョンが最新でない場合は、サポートを受けられない場合がありますので注意してください。

最新のモジュールを提供するための Starter Pack は以下のサイトからダウンロード可能です。本サイトに最新の Starter Pack の有無を確認してください。

<http://www.toshiba-sol.co.jp/pro/magnia/tech/starterpack.htm>

なお、モジュールを使用するためには、パスワードが必要となります。

パスワードを入手するためには、製品名、製品形番、シリアル番号が必要となります。使用を開始する前に情報を保存しておいてください。

- ※ 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱・操作に関する説明書をよくお読みください。
- ※ 本内容は予告なく変更する場合があります。
- ※ 本資料に表記されている内容は、2018年3月現在のものです。

以上